

プレス各位

【演劇界初！】赤ちゃんが生まれても劇場へ！ママが楽しむ子連れ観劇！

《5月19日(木)、演劇界初(当劇団調べ)子's母's(コスモス)デーを開催いたします。演劇ユニット春の日ボタンは子連れで鑑賞出来る日として、子育て中のエンタメ好きママを応援します。各メディアからの取材をお待ちしております。》

初めまして。演劇ユニット春の日ボタンの脚本・演出の千野ありさです。私は、2010年6月に男の子を出産しました。妊娠中によく言われたのが、この言葉です。「赤ちゃんが生まれたらなかなか行けないから、映画やお芝居とか今のうちに、沢山行っておいた方がいいわよ。」

実際、赤ちゃんを連れて出かけるのは大変です。行動的な私でも、息子が生まれて一ヶ月は、軟禁状態でしたし、それ以降もなかなか手が離れることはありません。電車やバスに乗れば、いつも、「泣いたらどうしよう」とヒヤヒヤ。電車の中で泣いてしまったら目的地でないのに降りちゃうというママも。お出かけするにも、美術館など静かなところにはなかなか行きづらいし、まして、映画やお芝居なんて、子連れママには敷居が高すぎるのです。

それでも、最近の映画館では、赤ちゃん連れOKの日というのを設けているところもあります。実際に利用した時、私はふと、「映画館は子連れOKなところがあるのに、演劇はどうして子連れOKなところはないのだろう?」と感じたのです。

「子連れで観劇なんて、赤ちゃんが泣いたりしたら周りに迷惑がかかるし…」出産前はお芝居大好きだったママも、そうやって観劇をあきらめてしまうのです。実際、ツイッターや、ブログ、子育てサロンなどで「なかなか出かけられない…」と話すママがあふれているのをよく目にします。

そんなママたちを解放してあげたい。もっとママに子連れで出かけられる場所を作ってあげたい、そう思って始めたのが、子's母's(コスモス)デーです。子's母's(コスモス)デーはママが楽しむための場所として提供します。

《子's母's(コスモス)デー、今後の展開》

今後は、「子's母'sデー」が演劇界に広がって、いろんな劇場、たくさんの劇団が子連れ観劇OKの日を設けて「映画の日」のように子連れママが劇場にも出かけやすくなればいいな、と思っています。

【子's母's(コスモス)デーのご案内】

5月19日14時の回は、あかちゃんも未就学のチビちゃんもママと一緒に観劇できます。上演中、赤ちゃんが泣いても騒いでもお互い様、ママが気兼ねなく観劇を楽しめる上演回です。忙しいママにちょっぴり自分のための時間を。ママが笑顔なら赤ちゃんだってハッピーですから。春の日ボタンの作品は、大人のハッピーコメディ。楽しく笑えて、ママが笑顔になれば、ママも赤ちゃんもほんわかハッピー。春の日ボタンはがんばっている子育てママたちを応援します。
※授乳服メーカー・有限会社モーハウス様とのコラボレーション企画も開催！

【公演概要】

演劇ユニット春の日ボタン第六回公演「空色ラジオ」- 恋の模様は空の色 -

http://www.harunohi.net/play_006.shtml

2011年5月18日(水)～22日(日)「劇」小劇場(下北沢)

料金(税込)前売 3,000円 / ☆初日のみ 2,500円 当日 3,300円 全席指定

(19日(木)14時の回「子's母'sデー」のみ全席自由)

受付は開演60分前、開場は開演30分前。

脚本:演出 千野 ありさ 共同脚本:みっちー

出演:渡邊けい子・白鈴木ももか・高野アツシオ・三宅法仁 他

【演劇ユニット春の日ボタン 千野ありさ(脚本・演出)プロフィール】

物心がついた頃から、周りの爆笑を取ることをばかりを考える子に育つ。高校生の時に出演したミュージカルの影響で、俳優の養成所に通い、演劇を学ぶ。小劇場の舞台に立ち、結婚を機に、夫のなかおみちと共に演劇ユニット春の日ボタンを立ち上げる。2010年6月に長男を出産し、稽古場では抱っこ紐で赤ちゃんを抱っこしながら演出をする(多分)演劇界初めての演出家。最近の関心事は、母乳育児の大切さと玄米甘酒。

【当リリース、取材に関してのお問い合わせ先】

子's母'sデー担当:千野(せんの)

arisa@harunohi.net

【演劇ユニット春の日ボタン】

代表 なかお みち

東京都世田谷区若林3-6-22-203

<http://www.harunohi.net/>

office@harunohi.net

(運営母体:合同会社春の日ステージング 所在地:同上)